

Ⅱ. 地域福祉の将来像



1. 地域福祉の将来像とは

私たちが目指す地域福祉の将来像は、

心と心 笑顔と笑顔をつなぐまち 奥多摩

です。

心と心は住民同士の思いやりの気持ち、**笑顔と笑顔**は地域のふれあいやみんなで楽しく活動を進めて行く姿勢、**つなぐまち**は支え合いの活動をつなぎ、より安心できるまちを協働し創っていくことを意味します。

私たちは、現在の奥多摩町の良さを引き継ぎ、一步前へ進むことで、この将来像が実感できるまちをめざし、住民一人ひとり、関係機関・団体、そして行政が一緒になって『地域福祉』を進めていきます。

2. 基本理念

(1) どこに住んでいても福祉の手が行きとどいたまち

- 住民一人ひとりが、住み慣れた地域で、安心して暮らせるようにいつでも、必要な時に、必要な福祉サービスを受けられるようにします。
- 身近な地域の施設を福祉の拠点として活用し、町全体の福祉、保健、医療とのネットワークを形成するなかで、地域の現状と地域のニーズに応じた福祉活動を推進します。

(2) 住民一人ひとりがボランティア精神で活動するまち

- 住民一人ひとりがお互いを助け合う相互扶助の考えで生活していきます。
- 住民一人ひとりがボランティア精神で活動する福祉のまちづくりを推進します。

(3) 住民と行政が一体となつてつくる福祉のまち

- 住民と行政が一体となつて福祉活動を進めていきます。